

月刊

300



地図と学ぶ

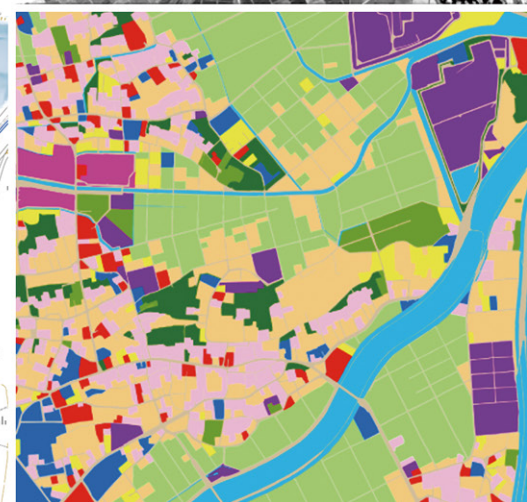
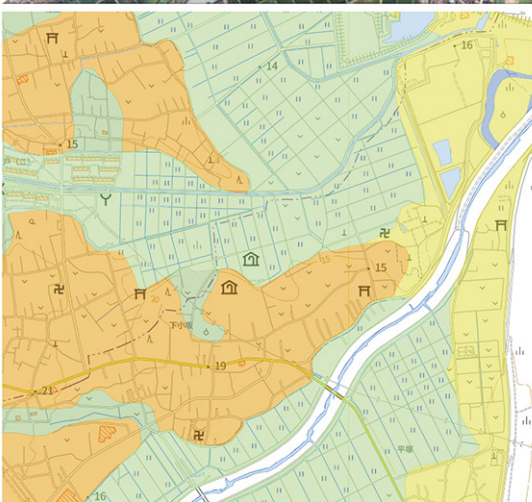
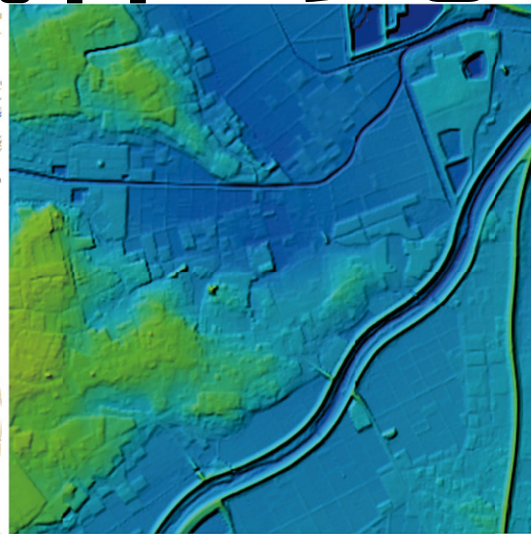
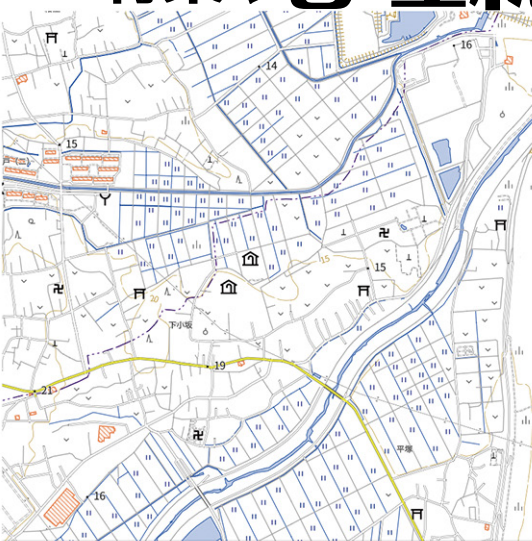
通巻

618

2024年3月

地図中心

特集 地理総合から地理探究へ



地図中心 618号 目次【特集 地理総合から地理探究へ】

「地理探究」から1年	吉水 裕也	3
SDG11「住み続けられるまちづくり」の構想	吉水 裕也	4
ーコンパクトシティ・プラス・ネットワークは、私のまちにも有効かー		
「地理総合」における生徒の主体的な取り組み～「地理院地図」の活用～	小嶋 俊介、村田 祐介、齋藤 譲司、大神 勇人	6
地図で考える日本の再生可能エネルギー	足利 亮太郎	8
地理院地図で地理総合から地理探究へ	高木 優	11
地理院地図で探究する～地理情報を集める、重ねる、読み取る～	今野 良祐	14
地理総合で探究的な学習の充実をめざす	井上 明日香	16
新しい鉄道をつくる 地域を構想する地理探究の授業	加藤 一郎	19
G I Sを活用した「日本の自然災害と防災」の学習	佐藤 京子	22
必修「地理総合」から選択「地理探究」へー地図を用いて、2つの科目をつなぐー	坂口 克彦	24
多面的多角的な地図の活用と地域理解・防災意識の醸成	佐藤 亨	27
ー東京都豊島区池袋の地名とルーツの考察からー		
地理総合と地理探究の学びを地図地理検定に活用してみませんか	地図地理検定事務局	30
第27回全国児童生徒地図優秀作品展受賞作品	編集室	32

【連載】

《日本列島1/20万 鶴の目鷹の目28》電子地形図20万「北見」	小泉 武栄	34
《地図づくり最前線1018》オンライン地図をリアルタイムで共同操作できる「Sync Map Viewer」	片岡 義明	36
《日本百名山が見える鉄道 見えた鉄道15》花輪線から八幡平、釜石線から早池峰	清水 長正	38
《歴史舞台地図追跡88》江戸・東京をめぐる虚像と実像（其の拾捌）	谷口 榮	40
《地図を片手に大地を駆ける82》OMM BMO OMO	小泉 成行	42
《ベクター地歴地図孤軍奮闘記55》村・大字・字があった	小島 豊美	44
《地図心中 復活版31》絵解きー28 学びの入口は「遊び」	高橋 美江	46
新刊地形図案内 48 / 今月新刊の見どころ！・日本地図センター便り 49		
編集後記・次号予告 50 / 書窓 52		

月刊 地図中心

◆「地図中心」は毎月10日発行です◆

1冊 880円（税込）

地図倶楽部

◆紙版と電子版のご購読会員

年間購読1年間 12冊

プレミアム会員

6,600円（税・送料込）

プレミアム会員（シニア）満65歳以上

5,500円（税・送料込）

◆電子版のみのご購読会員（紙版は送付されません）

地図倶楽部会員	会費（税込）	入会資格
一般会員	5500円	なし
一般会員（シニア）	4400円	満65歳以上
学生会員	2200円	学生または18歳未満の方

地図倶楽部事務局

map-club@jmc.or.jp 03-3485-5417

《表紙》

各地図は、地理院地図（Vector）より取得したものである。（2024年2月）

標準／土地の凹凸／標準と土地の凹凸

写真／白地図／年代別の写真

地形分類／浸水推定段彩図／宅地利用動向調査

新刊

地図地理検定（専門） 過去問集50



◆ 過去13回分の出題から50題を精選

◆ 4つの分野と記述式問題に詳しい解説

得点力アップにつながる情報を読んで、類題に挑戦して「地図地理力博士」を目指そう!!

「地理総合」「地理探究」スタート

私も推薦します!



地図大使 石原良純さん

A4版・96ページ／1,430円（税込）

2023年4月15日発行

「地理探究」から1年

よしみず ひろや
吉水 裕也

1 「地理探究」のコンセプト

2023(令和5)年度から「地理探究」の授業がスタートしました。2018(平成30)年告示の「高等学校学習指導要領解説地理歴史編」によると、「地理探究」の学びの集大成は大項目C「現代世界におけるこれからの日本の国土像」であり、これまで学んできた様々な学習の成果を基に、現代世界における日本の国土の特色を国や地域や個人といった多層な視点から客観的に見る力を培い、日本が抱える地理的な諸課題を生徒自ら見いだすことを通して、その解決と望ましい国土の在り方を実現するためにどのような取組が必要であるかを探究することになっています(文部科学省2019)。

「地理探究」の大項目Aの「現代世界の系統地理的考察」と大項目Bの「現代世界の地誌的考察」は、前述の大項目C「現代世界におけるこれからの日本の国土像」を描くための前提としての系統地理的考察と地誌的考察ということになり、大項目AとBでの学習を通して考察したり、理解したりしたことが大項目Cの学習で活用されることにより、深い学びにつながるという構成です。このように、これまでは系統地理と地誌が地理学習の両輪でしたが、「地理探究」ではこれまでより一歩踏み込んで、系統地理的考察と地誌的考察という両輪を転がして発電した動力を確実に国土像を描く際に活用するような位置づけになっています。

ところで、中学校社会科地理的分野では大項目Cに「日本の様々な地域」が設定されており、その中項目(4)に「地域の在り方」が位置付け

られています。この中項目では、考察のみならず構想も求められています。さらに、「世界と日本の様々な地域を学習した後に位置付けることで、既習の知識、概念や技能を生かすとともに、地域の課題を見だし考察するなどの社会参画の視点を取り入れた探究的な地理的分野の学習のまとめとして行うことが必要」(文部科学省2018)とされています。ただ、「日本の様々な地域」の中の中項目ですから、主に日本の諸地域学習を踏まえて地域の在り方を考察、構想することになり、ここは「地理探究」とは構造が異なります。

2 これからの日本の国土像

さて、これからの日本の国土像を描くための価値基準になるものは何でしょうか。過去の学習指導要領では、「よりよい社会の形成」という言葉が使われ、「よりよい」の具体は示されてきませんでした。一方、直近の改訂では「よりよい」ということの具体を「持続可能」という言葉に置き換えていますから、これからの日本の国土像を考える際にも、「持続可能」が価値基準になると考えられます。

3 「持続可能な国土像」の探究

学習指導要領に即して考えると、持続可能な社会の創り手となる生徒が、国土像を探究することが「地理探究」のまとめになります。

そのためには、いつから、どのような国土政策がとられてきたのかを学習する必要があります。戦後復興、拠点開発方式(全総)、大規模プロジェクト方式(新全総)、定住圏構想(三全総)、交流ネットワーク構想(四全総)、参加と連携(21世

紀の国土のグランドデザイン)、国土形成計画、第二次国土形成計画などの国土政策を歴史的に振り返ったうえで、国土像を描くことが重要です。2023年の夏には、第三次国土形成計画が示され、「新時代に地域力をつなぐ国土」が目指す姿として示され、また「シームレスな拠点連結型国土」が基本構想とされています。

これらを踏まえて、「持続可能な国土像」を探究するためのサブテーマを設定したいものです。例えば、持続可能な国土像を描くことを一つのプロジェクトと捉えてはどうでしょうか。プロジェクト・ベースド・ラーニング(PjBL)的に単元を構成し(吉水2023)、地域像を何度も描き直しながら構想させたいものです。PjBLでは、プロジェクトに必要な知識を獲得しながら、何度もプロトタイプを作るデザイン思考で学習を進めます。様々な地図を組み合わせ、具体的な国土像を提案できるようにしたいものです。

〈引用文献〉

文部科学省(2018)『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編』東洋館出版社
文部科学省(2019)『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説地理歴史編』東洋館出版社
吉水裕也編著(2023)『PBLの社会科単元構成による中学地理の授業デザイン』明治図書

吉水 裕也



1962年大阪生まれ。兵庫教育大学理事(副学長)。専門は地理教育。小学校では地図帳大好き少年。中1の時に、ラジオで気象通報を聞いて天気図を描くという作業をしている人を初めて見て、その面白さにはまる。高校では、地形図にはまる。どうやら等値線が好きようです。



SDG11「住み続けられるまちづくり」の構想 ー コンパクトシティ・プラス・ネットワークは、 私のまちにも有効か ー

よしみず ひろや
吉水 裕也

1 住み続けられるまちづくり

「地理総合」や、「地理探究」の系統地理と地誌の学習を前提に、「これからの日本の国土像」を構想します。その際、「持続可能な社会」を価値基準として、SDG11の「住み続けられるまちづくりを」をサブテーマに設定します。SDG11には1～7とa～cのターゲットが設定されています。そのうち11.2には交通弱者のために安価で安全に持続可能な交通手段を使えるようにすること、そして、11.3には誰もが参加できる形で持続可能なまちづくりを計画し実行できるような能力を高めることが謳われています。SDG11の達成方略には、11.aとして、「国や地域の開発の計画を強化して、都市部とそのまわりの地域と農村部とが、経済的、社会的、環境的にうまくつながりあうことを支援する」ことなどが設定されています。公共交通機関などは人口の多い都市部では充実していますが、農村部とをどのように結ぶのかは課題です。これらを踏まえ、持続可能なまちづくりに繋がる国土像を描くことを目標とします。

2 コンパクトシティ・プラス・ネットワーク

2020年には都市再生特別措置法が一部改正され、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方が推進されはじめ、居住誘導区域および都市機能誘導区域が設定

され、それらが公共交通でネットワーク化されることが推奨されました。2023年夏に閣議決定された第三次国土形成計画にもこの考え方が入っています。人口減少や少子化とその地域的偏在の加速、高齢化、国際社会での競争激化、巨大災害の切迫とインフラの老朽化、食料・水・エネルギーの制約と地球環境問題、ICTの劇的進歩などの国土をとりまく時代の潮流や課題を背景に、さらには国民の価値観の変化や国土空間の変化を踏まえて、どのような国土像を描くのか、地誌で学習した各国の状況も踏まえて提案を考えます。

ただし、高等学校地理学習のまとめといえども、そう簡単に国土像を

描くことはできないでしょう。一方、国は前述のとおり、国土形成計画という形でこれからの国土像を描いています。このような計画を分析・吟味するところから、国土像を描くことも一つの現実的な方法ではないでしょうか。政府は国家スケールでの施策として第三次国土形成計画を打ち出していますが、都道府県や市町村スケールで実現可能なのか、また具体的にどのようにすれば実現性が高まるのかを考えたいものです。

ちなみに、大矢(2023)は、小学校社会科において、児童に地域像を再構成させる学習方略を、具体的な学習段階を含めて提案しており、とても参考になります。

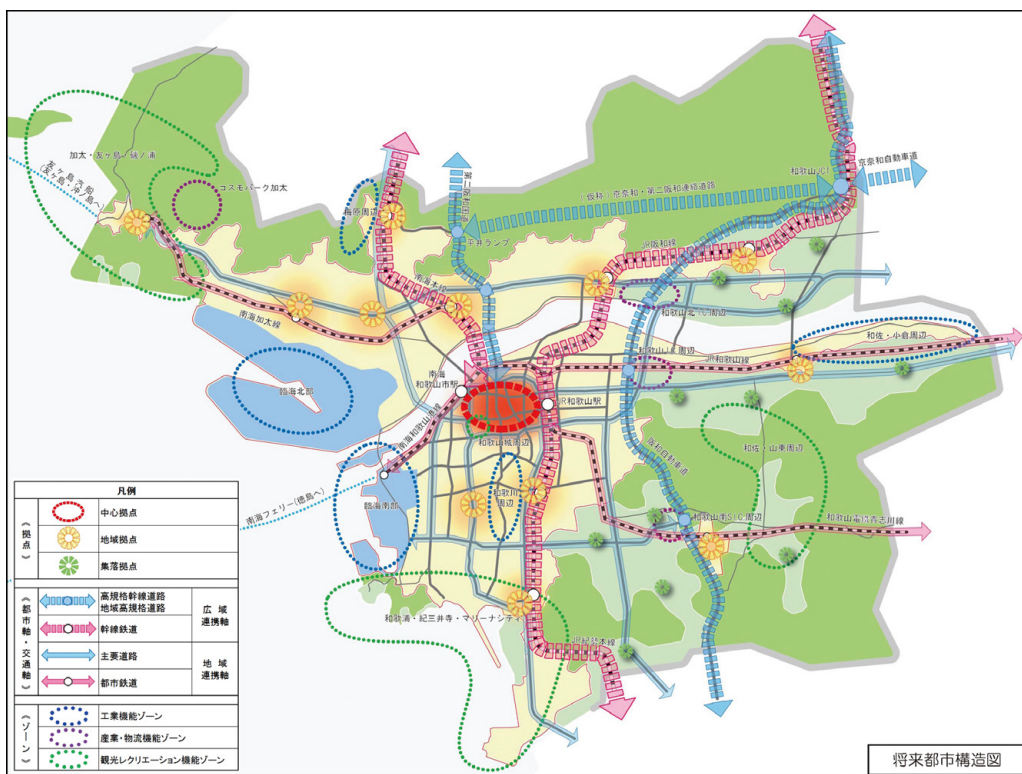


図1 和歌山市の将来都市構造図
(「和歌山市都市計画マスタープラン(令和5年11月)」p.67)

編集後記

2023年度から「地理探究」の授業がはじまりましたが、実際の学校現場では2024年度から実施することが多いようです。しかし、今回の内容は「地理探究」の集大成である「日本の国土像」を探究するのにとてもよい事例ばかりです。私も日本の国土像を探究するために、1枚の写真から地理を考えてみました。

テーマパークやショッピングセンターが無い地域を生徒はよく「なにもない」と言いますが、目の前に見える1本の木、小さな川、農地も地域を考える重要な教材です。生徒が言う「なにもない」地域の写真には、水田に多くの白い塊が写っています。調べてみると、これは「稲ホールクロップサイレージ」といい、稲刈り後の藁をまとめて発酵させ、家畜のエサとするものだそうです。藁を捨てないで活用するという観点はSDGs

ではないでしょうか。また、このサイレージの価格と家畜飼料の輸入額の比較や推移は、日本の貿易の課題を考察することにつながります。サイレージの行き先や販売ルートは、交通網をはじめとした日本の流通や第3次産業を考察することになります。この農地の農業経営体は高齢化や兼業化がみられるので

しょうか。6次産業化も気になるところです。そもそもこの水田で栽培するイネの気候条件は…など。この写真から考えられることはたくさんあります。1枚の写真から「日本の国土像」を探究するはじめの一步を踏み出してみませんか。

(日本地図センター・文化事業部・竹澤史也)



次号予告 2024年4月 通巻619号

毎月10日発行

地図と学ぶ月刊

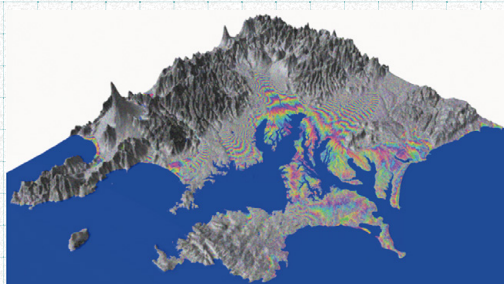
地図中心

総特集

縄文海進 地形×考古
一過去の地球温暖化に学ぶ

今から7000～6000年前ごろ、温暖化によって現在より海面が数m高くなった現象が「縄文海進」。陸地奥深くへ海が浸入した温暖期に住まう縄文の人たちは、どのように暮らしていたのでしょうか？

地形と考古の両面から縄文海進を紐解きます。



陸地に入り込み、広がった奥東京湾 RCMaPで見る鳥観図 (遠藤 邦彦)

バックナンバーのご案内

地図中心

検索

「地図倶楽部」へのご入会をお待ちしています！ 03-3485-5417(事務局)

地図中心

2024-3 通巻618号

発行 2024年3月10日

発行所 一般財団法人日本地図センター

〒153-8522

東京都目黒区青葉台4-9-6

電話 03-3485-8125

FAX 03-3485-5593

(月刊「地図中心」編集室)

メール chushin@jmc.or.jp

URL https://www.jmc.or.jp

©一般財団法人日本地図センター

定価 880円(税込)

印刷所 昭栄印刷株式会社

地図と学ぶ月刊誌

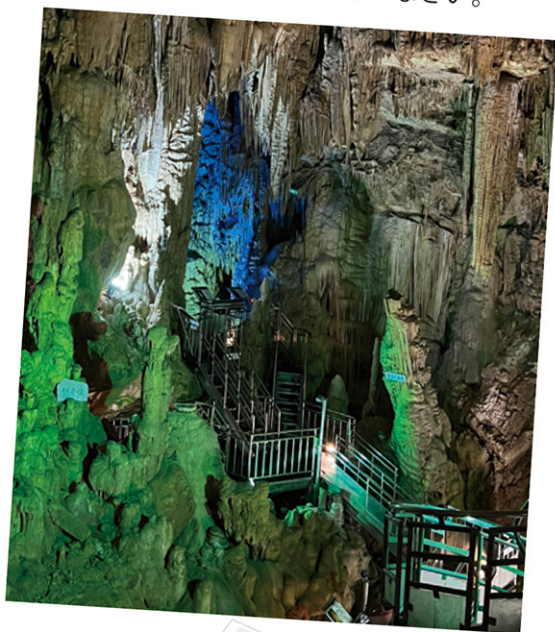


本誌の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、禁じられています。

地図地理検定

かこもん
(基礎)第39回出題
問10
正解率86.8%

次の写真は、カルスト地形の一種である福島県のあぶくま洞内部を撮影したものです。地理院地図①～④のうち、カルスト地形を示しているものを1つ選びなさい。

詳細を
Check!

地図地理検定

私も推薦します！

等高線や地図記号の意味
を知れば、地図に描き込
まれた無限の情報が理解
できます。

地図大使
石原良純さん

検定実施日
6月16日 2024年

申込締切：5月下旬（詳細はQRコードからサイトにアクセス!!）